



はじめまして、
91年卒の大谷典之と申します。

私は中高と智辯和歌山にお世話になりました。

作成日：令和5年9月2日

智辯和歌山時代はどんな学生だったのですか？

在学中は少林寺拳法部に所属し、人工芝の校庭で増田先生の指導を仰ぎながら、日々練習する学生生活でした。全日本チャンピオンの増田先生に憧れて私も空手の公式試合に出場い

ました。高校2年生までは試合で実績を残すことに注力する日々でした。



智辯時代の公式試合

学生生活での最大の思い出は？

練習後に、増田先生や部活仲間達と人工芝に寝ころんで様々な話をしました。部活のこと、ドラマや音楽、勉強、恋愛(笑)など。その中でも最も印象に残っているのが、将来の職業についての会話です。

当時の私は銀行やメーカーといった組織で働くイメージがわかず進路も迷っていたようので、増田先生から、

「大谷は、始めたことを辞めずに続けられるから、専門性を活かす土業が向いているかもしれない。」

「いまは、どの方向に進むのかを決められないなら、進路は経

じます。

智辯和歌山では多くのことを学びましたが、私の中で最も活かされていることは、先生たちが、私のことをよく見てくれていて、私にあった進路・働き方と生き方をアドバイスしてくれ



紀州の木材を活用した観光インバウンド施設の竣工式

たこと、だと感じています。

自分の半生を振り返ると、多感な時期の中学・高校時代に構成された自分の価値観と感性は、大学生そして社会人になっ

た今も殆ど変わっていません。その為、中高時代に客観的な視点で、自分の将来に関するアドバイスをもらうことは、大きな財産になると感じています。

現役の皆さんも自分の進路に迷ったときは、先生たちと交流をもつことをお勧めします。自分では気が付いてない皆さ

現在の学生に対するメッセージは？

いま振り返ると、智辯時代に先生たちから教えてもらったことが、今の私の働き方や生き方に大きな影響を与えていると感

済や法学部じゃなくて、社会全般を学べる学部を選ぶのも手段「ぞ」というアドバイスをもらったことを今でも鮮明に覚えています。この言葉が今も私の道標になっています。



所属ジムでのミットワーク

智辯卒業後の進路と就職は？

先生のアドバイスも参考に、私の卒業後の進路は、社会科学全般が学べる一橋大学社会学部に決めました。中高時代は競技中心だった私にとって一般受験は厳しいものでしたが、増田先生のアドバイス通り始めたことは不思議と継続できました。

大学でも、中高時代に学んだ空手・キックボクシング・少林



キックボクシング公式試合

んの可能性を、先生達が教えてくれるかもしれません。

もう一つのメッセージとして、中高時代に熱中して獲得したものは、その後の人生を豊かにしてくれることをお伝えしたいです。学業以外にスポーツでも音楽でも何でも良いと思いますが、もう一つ熱中することを見出して欲しいと思います。

私の場合は武道でした。中学から初め、大学生・社会人になっても続けました。ほとんど練習できなかつたり長期休止の時期もありましたが、学生時代に得たものはずっと自分の中に残り続けます。それが一流のレベルにまでならなくてもよいと思えます。私もプロレベルにはな



こども空手道場を運営

寺拳法部に所属しました。自分も子供や若者達に武道を教えたいと思い、指導員の資格も取得しました。そして大学時代から近所の町道場で子供クラスの指導員をつとめました。

就職は、幅広いまちづくりを手掛けている総合ディベロッパーに決めました。

大学卒業の時期になっても、私は自分にあつた職業や働き方を見いだせなかつた為、「まちづくり」という幅広い分野をカバーする職業を選びました。入社して組織の一員として仕事をしているうちに、自分のスキルと知識で活躍できる専門性が欲しいと感じるようになりました。そのため会社に勤めつつ、



ていることで老若男女の友人達ができ、そのコミュニティが人生の困難にぶちあたった時に私を支えてくれました。

みなさんも学業以外に打ち込める何かを見つけて欲しいと思います。貴重でかけがえのない青春時代です。

ぜひ悔いのない学生生活をお過ごしください。



まちづくりサークルの大学生向け講義の様子

大谷典之

おおたに のりゆき

和歌山県白浜町生まれ

1991年 智辯学園和歌山高等学校卒業

1995年 一橋大学社会学部社会政策学科

1995年 総合ディベロッパー企業入社、現職

三菱地所(株)エリアマネジメント企画部専任部長
特定非営利活動法人 大丸有エリアマネジメント協会 (Ligare) 局長
公益社団法人 東京都不動産鑑定士協会 理事
観光庁 広域周遊観光インバウンド専門家
こどもみらい投資顧問 代表不動産鑑定士



東京駅イベントでの登壇

現在の仕事は？

総合ディベロッパーの企業人としては、東京駅前の新丸の内ビルディング等の再開発案件を

長年担当しました。

現在は、東京駅前と皇居の間にひろがる丸の内エリアのまちづくり法人を任せられ、社会課題

独立系の土業の不動産鑑定士の資格を取得しました。

今考えると、増田先生のアドバイスが自分の中で活き続けていたからだと思います。

そのおかげで、いま私は企業人でありつつ土業でも活動しており、自分に適した働き方と生き方が出来ていると感じています。

